

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52205	小児保健演習 Children's Health:Work Shop	藤浦 なつ子	専門	1	選択	2 年前期

科目の概要

子どもの健康保持、増進を図るため、基礎的な知識及び技術を身につける。
 子どもの健康増進及び身体機能や発育・発達の特徴について理解し、特徴をふまえた保健活動の重要性を認識する。
 子どもの健康保持、増進のため、疾病の理解とその予防及び適切な対応を修得する。
 緊急時の基礎対応や事故防止、安全管理を身に付ける。
 小児保健で学んだことを踏まえ、「理論に基づく実践」を重視し、保育の実践において、なぜそうするのかを理解する。
 母子保健にかかわる施策・制度などについても学び、子どもの健康と家庭・地域・行政との関係を理解し健康支援ができるよう知識を修得する。

学修内容	到達目標
① 保育保健の基礎知識を学ぶ。健康観察のポイントについても学ぶ。	①子どもの保健を学ぶうえでの基礎となる、発育について計測方法を習得し評価できる。
② 子どもの生活面における養護と環境について学び技術を習得する。	②食事、睡眠、排泄、着脱、入浴や歯磨きなどの清潔について養護のポイントが抑えられ実施できる。また、適切な環境づくりが考えられる
③ 子どもの発達段階、各領域における発達を学ぶ。発達障害児の支援の方法を学ぶ。	③年齢による発達段階が理解できる。身体・運動・言語・認知・愛着能力の発達について理解できる。発達障害の特徴及び支援のポイントについて理解できる。
④ 子どものかかりやすい病気と、その適切な対応法について学ぶ。	④子どもによく見られる病気及び対応について理解できる。また、感染症については感染症予防対策がとれる。
⑤ 事故防止と健康安全管理について学ぶ。また応急手当の方法・技術について理解し実施する	⑤子どもの事故の特徴と安全対策について理解しその対応がとれる。
⑥ 地域保健活動と保育について、子どもの保健に関する国や行政の施策や制度等について学び、それに基づいて行う保育所等の保健活動を学ぶ。	⑥地域保健活動と保育との関係が理解でき必要な関係機関との連携について考えられる。保育活動の計画と評価について理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、自分で課題について調べたことを記述できる。技術の修得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	学んだ技術は、繰り返し練習することで、身につけることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理することで、健康観察の要点等を的確に把握する能力を身につけることができる。
	計画力	
	創造力	一人ひとり個性ある子どもの観察の仕方等、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容・情報を、的確な文章で表現できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 子どもの保健 演習ブック 松本峰雄監修 出版社: ミネルヴァ書房 定価・本体 2,200 円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 小児保健

資格との関連: 保育士

学修上の助言	受講生とのルール
小児保健で学んだことを復習しておくこと。 日常生活の中で新聞、テレビ等を通し子どもの健康問題、子育てに関心を持ち考えてほしい。 興味を持ったテーマや社会に関しては、文献やネットを通して調べるくらいの意欲を持ってほしい。	毎回、教科書は必ず持参すること。授業で配布する資料の予備は保管しません。出席者に依頼して確保しておくこと。当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前に受け付けます。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	70	①	✓	・授業で学習した内容の理解度を確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
		⑥	✓	
小テスト				
レポート	20	①	✓	・子どもの健康を増進し、健やかな成長・発達を促すためには、保育所と家庭が子どもの状況を共通認識し、必要に応じて連携することが不可欠である。 「保健だより」の作成により情報伝達状況を評価する。 ・日常生活の中で新聞等などの情報を通し、子どもの健康問題に目を向け考えることができるかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
		⑥	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・技術習得のために指示がなくても自ら練習することができる。 (実行力) ・学んだ技術は、繰り返し練習することで、身につけることができる。 (課題発見力) ・思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理することで、健康観察の要点等を的確に把握する能力を身につける。 (創造力) ・一人ひとり個性ある子どもの観察の仕方等、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 (発信力) ・整理した内容・情報を、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席、学修意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力的など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・提出物は、期限を守り提出すること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
		⑥	✓	
その他				
総合評価 割合	100			筆記試験、毎時間の小テスト及びレポートの内容等により総合的に評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) 及び C(可) の基準
子どもの保健の基本的事項を十分理解できている。① 「理論に基づく実践」を重視し保育の実践において、なぜそうするのかを理解できる。②また、関連事項にも目を向けることができる。③ レポートにおいては、趣旨を十分理解し工夫されて、的確に表現できる。また、日常生活の子どもの健康問題等に関心を持ち社会の状況に目を向け考察することができる。④ S(秀) = ① + ② + ③ + ④ A(優) = ① + ② + ④	子どもの保健の基本的事項を理解できている。① 保育の実践において、なぜそうするのか理解できる② レポートにおいては、趣旨を理解し表現できる。③ また、日常生活の子どもの健康問題等に関心を持ち記載できる。④ 期限内にレポート提出ができる。⑤ B(良) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ C = ① + ② + ③ + ⑤

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可) の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	保育保健の基礎知識を学ぶ① ○子どもの発育を理解する。 ・乳幼児の発育の特徴 ・乳幼児の身体測定 ・乳幼児の発育評価 ・母子健康手帳について	講義 演習	子どもの発育の特徴が、理解できる。 身長、体重、胸囲、頭囲の身体計測ができる 乳幼児の発育の評価ができる。	(復習) 自分の母子健康手帳を参考に発育の状況を調べる。 母子健康手帳にどのような情報が記載されているか調べて書き出してくる (予習) 次週のグループワークで討議するため、子どもの体温の特徴について調べる。 体温計の種類について調べる	90	主体性 課題発見力
2週 /	保育保健の基礎知識を学ぶ② ○子どもの健康状態を知る ・子どもの健康観察ポイント ・子どもの一般状態(熱、呼吸、脈拍、尿量等)	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	子どもの健康観察のポイントが理解できる。 子どもの一般状態について理解し、計測できる	(予習) 子どもの発達段階に応じた食事と睡眠について調べる いろいろなものを食べ、口の中の感覚の違いを知る。	30	主体性 課題発見力
3週 /	子どもの養護と環境① ○子どもの生活と保健について理解する ・子どもの飲食 ・乳歯と永久歯 ・子どもの睡眠の特徴	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	授乳、離乳食について理解できる。 乳歯と永久歯について理解できる。 子どもの睡眠の特徴について理解できる	(予習) ベビー用品売り場で、赤ちゃんの衣類、おむつ、ベビーカーなど育児用品について、どんなもの、どんな種類があるか調べる。 (次週のグループワークで紹介する)	60	主体性
4週 /	子どもの養護と環境② ○子どもの生活と保健について理解する。 ・抱っことおんぶ ・お風呂の入れ方(沐浴) ・衣服の着せ替え ・排泄について ・おむつの替え方 ・育児用品について	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	適切な抱き方ができ、沐浴、衣服の着せ替え、おむつの交換ができる。	(予習) 環境整備を考える。 エアコン使用時の温度・湿度を様々な場所で測ってみる。	30	主体性
5週 /	子どもの養護と環境③ ○保育と環境 ・子どもの成長・発達における環境との相互作用 ・施設内の環境整備	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	保育室などの、温度・湿度が考えられる。 おもちゃや身の回りの物の衛生管理について考えられる。	(予習) 身近にいる乳幼児の年齢と発達状況を観察してみる。 (何か月、何歳の子がどんなことをしていたか)	45	主体性
6週 /	子どもの発達について理解する① ・発達とは ・各領域における発達(運動・言語等)	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	年齢による発達段階が理解できる。年齢による発達のめやすがわかる。	(予習) 障害や個性ということについて自分の捉え方を整理する。 (次週のグループワークで発表し合う)	30	主体性
7週 /	子どもの発達について理解する② ・発達障害とは ・発達障害の子どもへの支援	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	発達障害について理解し適切な支援について考えられる。	(復習) 発達障害の子の支援について整理しておく。 (予習) 子どもがよくかかる病気について調べる。 自分が、何歳でどのような病気にかかったか、母子健康手帳を参考に調べる	60	主体性
8週 /	子どもの病気と適切な対応① ○子どもの病気とその対処法について① ・病気に対する子どもの特徴の理解 ・子どもの諸症状への対応 ・子どもによくみられる病気(麻疹・風疹・水痘・インフルエンザ・手足口病・りんご病・結核・ヘルパンギーナ等)	講義 演習 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	発熱、麻疹等、子どもによくみられる一般的な症状に対する対応について述べるができる	(予習) 予防接種について調べる。 どのような予防接種があるか、自分の受けている予防接種は何か調べる。 次週、使い捨てエプロン作成にあたり大きなごみ袋(45～70l)、はさみを持参する。	30	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	子どもの病気と適切な対応② ○子どもの病気とその対処法について② ・感染症の種類 ・感染経路 ・保育所における感染源・感染経路対策の具体的な方法 ・感受性対策としての予防接種 ・使い捨てエプロンの作成	講義 演習 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	感染症を理解し、感染防止対策がとれる。 感受性対策がとれる。	(予習) 障害のある子どもの保育、統合保育について考え自分の意見をまとめ書き出してくる。	30	主体性
10週 /	子どもの病気と適切な対応③ ○慢性疾患や障害のある子どもへの対応① ・保育所における障害児保育(統合保育)について ・障害のある子どもの具体的な対応	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	肢体不自由児、知的障害児、聴覚障害児等障害児についての対応が理解できる。	(復習) 障害のある子どもへの支援についてまとめる。	30	主体性
11週 /	子どもの病気と適切な対応③ ○慢性疾患や障害のある子どもへの対応② ・アレルギー疾患、神経・筋疾患(てんかん)、内分泌(糖尿病)、先天性心疾患	講義 演習 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	慢性疾患のある子どもへの理解を深めることができる。	(復習) 保育室でてんかん発作を起こした子どもがいた場合の観察点、対応を整理する。 (予習) 保育所の「防災グッズ」に何が必要か書き出してくる。 (グループワークで討議する)	60	主体性
12週 /	事故防止と健康安全管理① ○子どもの事故について理解する。 ・子どもの事故の特徴 ・集団保育における子どもの事故 ・安全管理・安全教育 ・災害時の対応・対策	講義 演習 グループワーク 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	子どもの事故の特徴について理解でき、事故防止について配慮できる。 災害時の対応・対策について理解できる。	(予習) 自分が体験した熱傷、鼻出血、熱中症交通事故等について原因、状況と対処を思い出し発生予防や対処法について考える。	30	主体性
13週 /	事故防止と健康安全管理② ○応急処置について理解する ・応急手当の基本 ・応急手当の方法(止血・圧迫方法、鼻出血、やけど、熱中症等) ・心肺蘇生法	講義 演習 DVD 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	応急手当の基本を理解し、応急処置がとれる。	(予習) 「保健だより」作成にあたりテーマ・内容を考える。	30	主体性
14週 /	地域保健活動と保育① ○地域活動の計画と評価について ・保育所における保育活動及び保育計画 ・保健活動を含めた保育評価 ・地域や保護者との連携 「保健だより」作成	講義 演習 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	地域や保護者との連携の一つである「保健だより」が作成できる。	(復習) 「保健だより」を完成させて、次週提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
15週 /	地域活動と保育② ○地域保健活動と保育との関係 ・地域における母子保健サービス ・母子保健を支える法・ビジョン ・地域における子育て支援システム	講義 演習 授業の冒頭で小テストを行う。復習内容を自己採点した後、フィードバックをする	地域における母子保健サービス及び地域における子育て支援システムについて理解できる。	各自完成させた「保健だより」を提出する。 (復習) 地域における子育て支援システムについて整理しまとめる。	30	主体性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力